



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社チノー 上場取引所 東
 コード番号 6850 URL <https://www.chino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115
 兼社長室長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,293	△9.2	△7	—	17	△91.0	△3	—
2019年3月期第1四半期	4,727	24.3	134	—	189	—	71	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △198百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 149百万円 (102.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△0.36	—
2019年3月期第1四半期	8.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	25,623	15,302	56.3	1,703.54
2019年3月期	27,402	15,948	54.7	1,768.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,431百万円 2019年3月期 14,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	1.4	1,740	1.2	1,810	3.4	1,150	3.2	135.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	9,260,116株	2019年3月期	9,260,116株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	788,479株	2019年3月期	788,360株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	8,471,700株	2019年3月期1Q	8,472,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦による中国経済の減速の影響等を受け、不透明な状況で推移しました。また、わが国経済においては、外需の減速により製造業の設備投資に対する慎重な姿勢が見受けられます。

このような状況のもと、当社グループは2020年度をゴールとする中期経営計画の2年目となる2019年度において、お客さまが現場で抱える問題・課題を迅速に解決するソリューション活動を進め、中期経営計画で掲げた経営ビジョンの実現に向けた取り組みを推進しております。

前年度からの施策として、半導体、電子部品、二次電池、新素材の4成長分野とそれらに連関するIoT、航空・自動車の2重点分野について、特販チームを設置して組織的な需要開拓を展開することにより、市場動向やお客さまニーズの把握に注力し販促活動および新製品開発に成果を上げています。今年度は、新たに社長直轄の専門組織を設置してマーケティング活動と開発活動を生販一体となってより機敏に展開する体制を組み、市場ニーズに即応した付加価値の高い製品・システムの開発を強力に進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、前年度好調であった半導体・電子部品等の製造業の生産設備向けの需要が減速したことにより、4,723百万円（前年同四半期比13.3%減）となり、売上高は4,293百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。利益面につきましては、営業損失7百万円（前年同四半期は営業利益134百万円）、経常利益17百万円（前年同四半期比91.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益71百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は年間を通して第1四半期が最も少なく、第4四半期に向けて増加する傾向にあります。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は1,800百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益（営業利益）は269百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。記録計とサイリスタレギュレータは熱処理向けを中心として前年同期比で売上増を確保しましたが、調節計は前年度好調に推移した電子部品製造装置向けの売上にブレーキがかかる結果となりました。地域別売上は、国内向けが前年同期比減少した一方で、中国およびインド向けは引き続き増加しています。

②計装システム

売上高は1,347百万円（前年同四半期比17.7%減）、セグメント損失（営業損失）は36百万円（前年同四半期は営業利益43百万円）となりました。売上高は前年度好調であった電子部品製造装置用の制御盤や、家電および自動車エアコン用の試験装置等が前年同期比減少となりました。一方で、主に自動車関連を中心に今年度増加が期待される燃料電池試験装置、並びにデータの電子記録化が進んでいる医薬品等の温湿度管理システムについては需要が拡大しています。利益面では当第1四半期は営業損失となりましたが、個別案件の採算悪化等によるものであります。

③センサ

売上高は935百万円（前年同四半期比7.6%減）、セグメント利益（営業利益）は120百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。放射温度計は前年度好調であった半導体製造装置向けが減速しましたが、鉄鋼や熱処理の温度監視向けに需要は堅調であり、第2四半期以降は全般的に需要が回復することを見込んでいます。また、2019年7月1日に株式を追加取得し持分法適用会社とした明陽電機株式会社との業務提携により、新たに船舶向けの温度センサの需要に対応し、新規受注の開拓に取り組んでいます。

④その他

修理・サービス等の売上高は209百万円（前年同四半期比0.6%増）で、セグメント利益（営業利益）は6百万円（前年同四半期比72.1%減）となりました。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

受注実績(セグメント別)

(単位:千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	1,963,651	1,711,260	△252,390	△12.9
計装システム	2,086,486	1,647,533	△438,953	△21.0
センサ	1,183,197	1,185,117	1,919	0.2
その他	212,254	179,416	△32,838	△15.5
合計	5,445,589	4,723,327	△722,262	△13.3

売上実績(セグメント別)

(単位:千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	1,868,166	1,800,347	△67,819	△3.6
計装システム	1,637,441	1,347,671	△289,770	△17.7
センサ	1,013,028	935,973	△77,055	△7.6
その他	208,599	209,750	1,151	0.6
合計	4,727,236	4,293,743	△433,493	△9.2

売上実績(地域別)

(単位:千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
日本	3,750,905	3,238,659	△512,246	△13.7
アジア	832,239	916,815	84,576	10.2
北米	85,583	89,165	3,582	4.2
欧州	46,877	34,652	△12,225	△26.1
その他	11,633	14,452	2,820	24.2
合計	4,727,236	4,293,743	△433,493	△9.2

営業利益実績(セグメント別)

(単位:千円)

セグメントの名称	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	292,269	269,876	△22,393	△7.7
計装システム	43,154	△36,474	△79,628	—
センサ	152,996	120,570	△32,426	△21.2
その他	24,132	6,742	△17,390	△72.1
全社費用(注)	△378,102	△368,328	9,774	—
合計	134,450	△7,613	△142,064	—

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,779百万円減少し、25,623百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,760百万円減少し、17,139百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加208百万円、現金及び預金の減少256百万円、受取手形及び売掛金の減少1,741百万円等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、8,484百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,133百万円減少し、10,321百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,018百万円減少し、8,027百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、2,293百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ646百万円減少し、15,302百万円となりました。これは剰余金の配当による減少381百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,463,359	5,206,768
受取手形及び売掛金	7,599,307	5,858,260
有価証券	298,568	275,555
商品及び製品	886,860	853,336
仕掛品	2,223,676	2,327,342
原材料及び貯蔵品	2,247,518	2,385,590
その他	249,505	246,960
貸倒引当金	△68,994	△14,665
流動資産合計	18,899,801	17,139,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,388,173	2,370,311
その他	2,185,762	2,195,509
有形固定資産合計	4,573,935	4,565,820
無形固定資産		
のれん	25,354	17,775
その他	435,505	378,380
無形固定資産合計	460,859	396,156
投資その他の資産		
その他	3,601,566	3,703,629
貸倒引当金	△133,203	△181,462
投資その他の資産合計	3,468,362	3,522,167
固定資産合計	8,503,158	8,484,144
資産合計	27,402,960	25,623,291

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,670,610	4,110,175
短期借入金	2,174,584	1,851,530
未払法人税等	328,991	79,609
賞与引当金	662,951	201,292
その他	1,209,424	1,785,023
流動負債合計	9,046,561	8,027,630
固定負債		
長期借入金	440,485	370,006
退職給付に係る負債	1,326,071	1,271,623
役員退職慰労引当金	341,649	347,501
その他	299,661	304,442
固定負債合計	2,407,867	2,293,572
負債合計	11,454,429	10,321,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,053,230	4,053,230
利益剰余金	7,485,888	7,093,938
自己株式	△1,155,381	△1,155,519
株主資本合計	14,675,765	14,283,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332,143	227,770
為替換算調整勘定	20,781	△35,876
退職給付に係る調整累計額	△45,431	△43,805
その他の包括利益累計額合計	307,493	148,088
非支配株主持分	965,272	870,322
純資産合計	15,948,530	15,302,088
負債純資産合計	27,402,960	25,623,291

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
売上高	4,727,236	4,293,743
売上原価	3,322,271	3,034,283
売上総利益	1,404,965	1,259,459
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	502,974	486,997
賞与引当金繰入額	100,556	61,321
退職給付費用	26,068	30,298
役員退職慰労引当金繰入額	13,041	12,871
研究開発費	138,842	136,043
その他	489,031	539,541
販売費及び一般管理費合計	1,270,514	1,267,073
営業利益又は営業損失（△）	134,450	△7,613
営業外収益		
受取利息	3,274	4,428
受取配当金	24,765	25,421
為替差益	8,960	—
売電収入	12,496	13,448
その他	24,049	6,874
営業外収益合計	73,545	50,173
営業外費用		
支払利息	2,298	2,800
金融関係手数料	2,852	1,924
売電費用	5,421	4,791
為替差損	—	10,089
その他	7,965	5,880
営業外費用合計	18,537	25,486
経常利益	189,459	17,072
特別損失		
固定資産処分損	71	735
特別損失合計	71	735
税金等調整前四半期純利益	189,387	16,337
法人税等	97,530	12,912
四半期純利益	91,856	3,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,567	6,496
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	71,289	△3,071

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	91,856	3,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,161	△104,372
為替換算調整勘定	△29,639	△98,950
退職給付に係る調整額	△627	1,626
その他の包括利益合計	57,894	△201,696
四半期包括利益	149,751	△198,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,621	△162,476
非支配株主に係る四半期包括利益	9,130	△35,795

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,868,166	1,637,441	1,013,028	4,518,637	208,599	4,727,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,868,166	1,637,441	1,013,028	4,518,637	208,599	4,727,236
セグメント利益	292,269	43,154	152,996	488,420	24,132	512,553

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	488,420
「その他」の区分の利益	24,132
全社費用（注）	△378,102
四半期連結損益計算書の営業利益	134,450

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,800,347	1,347,671	935,973	4,083,992	209,750	4,293,743
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,800,347	1,347,671	935,973	4,083,992	209,750	4,293,743
セグメント利益又は損失(△)	269,876	△36,474	120,570	353,972	6,742	360,714

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	353,972
「その他」の区分の利益	6,742
全社費用(注)	△368,328
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△7,613

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

株式追加取得による持分法適用会社化

当社は、2019年6月11日開催の取締役会において、明陽電機株式会社の株式を追加取得(発行済株式総数の15%相当)することを決議し、2019年6月26日付で締結した株式譲渡契約に基づき、2019年7月1日に株式取得が完了し、同社は当社の持分法適用会社になりました。